神代 高等学校 令和 6 年度

教科 地理歴史

科目 歴史総合

教科： 地理歴史 科目： 歴史総合

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組

教科担当者： A組：寺崎

使用教科書： 歴史総合（実教出版）

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。
技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合

の目標：

【知識、技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第2章 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 4 イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 ・イギリス産業革命とアメリカ独立戦争によって、どのような政治体制が生まれたのか理解する。	・指導事項 単元欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 ・教材 教科書・ノート・プリント・CD・DVD等 ・スマートスクール端末の活用	【知識・技能】 ・イギリスの革命とアメリカの独立によって成立した、それぞれの政治体制について、啓蒙思想に着目して理解している。 【思考・判断・表現】 ・イギリスとアメリカで成立した政治体制とその違いについて考察し、根拠に基づいて表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・産業革命によってもたらされた19世紀の「バプス＝ブリタニカ」が欧米諸国や日本や中国に与えた影響を、多面的・多角的に追及することができる。	○	○	○	5
第2章 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 5 フランス革命とウィーン体制 8 アヘン戦争の衝撃と日本の開国 9 江戸幕府の滅亡 ・18世紀とその前後のヨーロッパやアヘン戦争やペリー来航をはじめアジアと欧米諸国の関係などを基に、18世紀とその前後の世界の政治と社会を理解している。	・指導事項 単元 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 ・教材 教科書・ノート・プリント・CD・DVD等 ・スマートスクール端末の活用	【知識・技能】 ・フランス革命の理念を人権思想に着目して理解している。 ・ヨーロッパの進出に対する日本と清の対応と結果を、行動主体に着目して理解している。 【思考・判断・表現】 ・フランスの政治体制や社会が革命によってどのように変化したのかを考察し、根拠に基づいて表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・18世紀の日本とアジア諸国の社会情勢を経済視点から捉え、主体的に問いや見通しをもって学習に臨んでいる。	○	○	○	8
定期考査（中間）			○	○	○	1
第3章 欧米諸国と日本の国家形成 10 イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツの統一 ・イタリアやドイツではどのように近代国家形成を展開したのか理解する。	・指導事項 単元欧米諸国と日本の国家形成 ・教材 教科書・ノート・プリント・CD・DVD等 ・スマートスクール端末の活用 等	【知識・技能】 ・「世界の工場」とよばれたイギリスの繁栄について、内政・外交の両面から理解している。 ・イタリア・ドイツの統一に着目して、これらの国々の近代化について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ドイツの近代国家形成の特徴について、考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・イタリアとドイツの統一が与えた影響について追究しようとしている。	○	○	○	8
第3章 欧米諸国と日本の国家形成 11 明治政府の諸改革 13 自由民権運動と大日本帝国憲法 ・明治維新により、日本がどのような国家に変化したのか考察する。 ・日本が近代国家となるために、どのような政策を進めていったのか理解する。	・指導事項 単元 ・教材 教科書・ノート・プリント・CD・DVD等 ・スマートスクール端末の活用 等	【知識・技能】 ・日本の明治維新から大日本帝国憲法の制定までの過程をもとに、立件体制による国民国家の成立の歴史を理解している。 【思考・判断・表現】 ・明治維新の前後で国のしくみと身分制がどのように変化したかを考察し、表現している。 ・近代国家となった日本の政治に国民がどの程度参加できたかを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・アジアで初めての近代国家建設の歴史を、明治維新政府樹立から大日本帝国憲法の制定までを理解することで、日本国民としての自覚を深めることができる。	○	○	○	8
定期考査（期末）			○	○	○	1